

14.02.2019

プレスメッセージ

Pilz GmbH & Co. KG
Felix-Wankel-Straße 2
73760 Ostfildern
ドイツ
<http://www.pilz.com>

PSSuniversal 2のIO-Link技術 - ネットワーク生産へのリンク

オストフィルダン, 14.02.2019 - ピルツは、リモートI/Oシステム **PSSuniversal 2**とセンサ/アクチュエータ間の通信用の新しい **IO-Link**マスタモジュール**PSS u2 ES 4IOL**を紹介します。 **IO-Link**技術はIEC 61131-9に従って、世界で標準化されています。 **Industrie 4.0**の精神に則った自動パラメータ化や装置の拡張診断を実行できます。

IO-LinkマスタモジュールPSS u2 ES 4IOLは、対応するヘッドモジュールを使用して、ProfinetおよびEthernet/IPネットワークに組み込むことが可能です。センサやアクチュエータなどのIO-Link装置は、マスタモジュール上の4つのIO-Linkポート経由でリモートI/OシステムPSSuniversal 2に接続されます。1台のモジュールがポイントツーポイント通信で、最大128バイトの処理データを転送します。装置の処理データおよび装置データは中央のマスタモジュールでのみ利用できます。IO-Linkデータインタフェースにより、詳細な装置診断および配線の診断が提供され、すべてのメンテナンスタスクがシンプルになります。

効率的なパラメータ化

マスタモジュールはピルツのソフトウェアPASconfigで容易にコンフィグレーションできます。ユーザは装置のコンフィグレーションを中央のマスタモジュールPSS u2 ES 4IOLに保存できます: センサ交換時には、データが新しいセンサに簡単に転送され、新たなパラメータの設定は不要です。この自動のパラメータ化により、オペレータの時間を節約できます。さらに、不具合が減り、設備の可用性が向上します。IO-Linkモジュールはホットスワップ可能なため、ダウンタイムをさらに短縮できます。

インテリジェントな診断

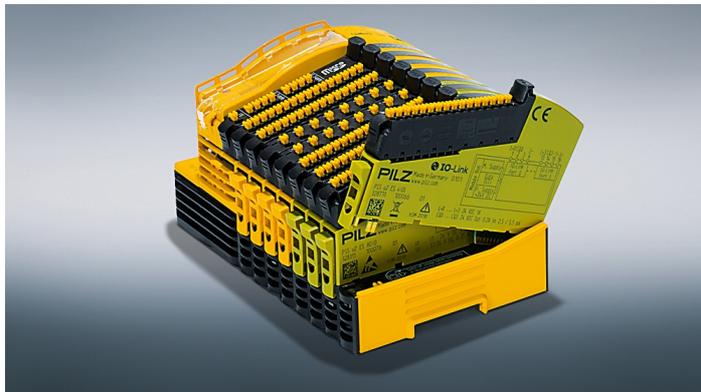
マスタモジュールのLEDディスプレイにIO-Linkのモード、オペレーティングステータス、モジュールのエラーが表示されます。IO-Link装置との通信を通じた拡張診断で、回路断線の検出も可能です。IO-LinkマスタモジュールPSS u2 ES 4IOLは、インテリジェントな装置にネットワーク生産の後続の処理のための情報を提供し、予防保全を目指す未来のソリューションを支援できます。

安全およびオートメーション用リモートI/Oシステム

リモートI/OシステムPSSuniversal 2は柔軟性、オープン性、精度が高く、周辺機器の増設のための経済的なソリューションです。

I/Oモジュールはさまざまな安全性プロトコルに対して、同一の方法で汎用的に使用できます。3部システム構造のため、PSSu2システムは取り付け、サービスを簡単に実行できます。最適可された処理で故障が減り、ユーザは時間を節約できます。

ピルツはホール9、ブース17に出展します。詳細情報は[こちら](#)



キャプション: IO-LinkマスタモジュールPSS u2 ES 4IOLの発売で、リモートI/OシステムPSSuniversal 2は、グローバルに標準化されたIOインタフェースによって、センサやアクチュエータと通信可能になりました。

テキストと画像はwww.pilz.comで検索、ダウンロードできます。プレスセンターで関連するインターネットのページを直接開くには、以下のWebコードをホームページの検索画面に入力してください。: **199199**

ピルツのソーシャルネットワーク

ピルツのソーシャルメディアチャンネルでは、ピルツと社員の参考情報の他、オートメーション技術開発に関する最新情報をお知らせします。

 <https://www.facebook.com/pilzjp>

 https://twitter.com/Pilz_INT

 <https://www.youtube.com/user/PilzINT>

 <https://www.linkedin.com/company/pilz>

 <http://ura-pilz.com/>

記者向け連絡先

杉原 千砂

マーケティング・コミュニケーションズ部

045 471 2286

mkt@pilz.co.jp